

原子力分野の研究開発に関する委員会

平成20年度研究評価計画

平成20年7月16日

平成20年8月12日一部改正

原子力分野の研究開発に関する委員会

原子力分野の研究開発に関する委員会では、「研究計画・評価分科会における評価の進め方（平成20年2月5日 研究計画・評価分科会）」に則り、各研究開発課題の事前評価及び事後評価を行うとともに、5年以上継続する課題については、原則として3年目ごとに定期的に中間評価を行うこととし、平成20年度においては、以下のとおり進めることとする。

1. 事前評価

○ 評価対象課題

- ・ 研究開発段階炉等の廃止措置技術の研究開発

○ 評価の観点

- ・ 必要性（当該研究開発の重要性、緊急性）
- ・ 有効性（当該研究開発効果の有効性）
- ・ 効率性（当該研究開発の方法、体制の効率性）

等を、別紙様式1（事前評価票）により評価を行い、その妥当性を判定する。

○ 評価日程

- | | |
|----------|------------------------------|
| 8月上旬 | 各作業部会において、評価案を作成。 |
| 8月21日（木） | 当委員会において、評価案について審議を行い、取りまとめ。 |
| 8月29日（金） | 研究計画・評価分科会において評価を決定。 |

2. 中間評価

○ 評価対象課題（別添評価対象課題一覧表参照）

- ・ 原子力システム研究開発事業

事業の拡充につき、事業のレビューを行うとともに、拡充部分の評価を行い、事業全体としての評価を行う。

○ 評価の観点

- ・ 研究開発自体の評価（進捗度、目標管理、機関運営方法の評価）
- ・ 国益からみた評価（国またはその分野において必要な研究開発か、研究開発の方向性は正しいか）
- ・ 拡充部分については、事前評価に準じて、必要な評価項目を抽出等を、別紙様式2（中間評価票）により評価を行い、その妥当性を判定する。

○ 評価日程

1. 事前評価と同じ。

3. 事後評価（別添評価対象課題一覧表参照）

本年度は対象課題なし。

4. 留意事項

- 評価の対象課題は、原則として、文部科学省内部部局の課題とし、独立行政法人の運営費交付金による課題は対象としない。
- 独立行政法人の運営費交付金による課題については、必要に応じ、その進捗状況等の報告を求めることがある。

(別添)

原子力分野の研究開発に関する委員会 評価対象課題一覧表

作業部会及び事業名		区分 (新規・継続・終了)	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	前 回 評 価 実 施 年 度	中 間 評 価 実 施 年 度	事 後 評 価 実 施 予 定 年 度	備 考
【原子力研究開発作業部会】								
	原子カシステム研究開発事業	継	17	-	18	20	-	事業の拡充につき、平成20年度に中間評価を実施予定。
	原子力分野の人材育成プログラム	継	19	-	18	21	-	
	原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	継	20	-	19	22		
【核融合研究作業部会】								
	I T E R計画（建設段階）の推進	継	18	28	19	22	29	
【量子ビーム研究開発作業部会】								
	光・量子科学技術分野における基盤技術開発のためのネットワーク型研究拠点の構築(量子ビーム基盤技術研究開発・人材育成事業)	継	20	24	19	22	25	
	粒子線がん治療に係る人材育成プログラム	継	19	23	18	21	24	

◎◎◎の事前評価結果

平成〇〇年〇〇月

〇〇委員会

〇〇委員会委員

	氏名	所属・職名
主査	〇〇 〇〇〇	国立〇〇センター所長
主査代理	〇〇 〇〇〇	〇〇
	〇〇 〇〇〇	〇〇

(課題の概要ポンチ絵)

※全体が分かるもの

◎◎◎の事前評価票

(平成〇〇年〇〇月現在)

1. 課題名 〇〇……
2. 開発・事業期間 平成××年度～平成△△年度
3. 課題概要 〇〇……
4. 評価の検討状況
(1) 必要性 ※当該研究開発の重要性、緊急性
(2) 有効性 ※当該研究開発成果の有効性
(3) 効率性 ※当該研究開発の方法、体制の効率性
5. 評価結果 ※採択・不採択(実施の可否)の明示、今後研究開発を進める上での注意点など

◎◎◎の中間評価結果

平成〇〇年〇〇月

〇〇委員会

〇〇委員会委員

	氏名	所属・職名
主査	〇〇 〇〇〇	国立〇〇センター所長
主査代理	〇〇 〇〇〇	〇〇
	〇〇 〇〇〇	〇〇

◎◎◎の概要（※ポンチ絵でも可）

1. 課題実施期間

平成××年度～平成△△年度

2. 研究開発概要・目的

事前評価を行っている場合は、それを踏まえ記載

3. 研究開発の必要性等（※必要性、有効性、効率性を記述）

中間評価
実施年度

4. 予算（執行額）の変遷

年度	HXX(初年度)	…	H〇〇	H〇〇	H〇〇	翌年度以降	総額
執行額	〇〇億	…	〇〇億	〇〇億	〇〇億	〇〇億 (見込額)	〇〇億 (見込額)
(内訳)	科振費 〇〇億 〇〇費 〇〇億	…					

5. 課題実施機関・体制

研究代表者 東京大学〇〇研究所教授 〇〇 〇〇〇

主管研究機関 東京大学、A研究所、B大学

共同研究機関 〇〇大学、・・・

6. これまでの成果（※または進捗状況・達成状況）

7. その他

◎◎◎の中間評価票

(平成〇〇年〇〇月現在)

6. 課題名 〇〇……

7. 評価結果

(1) 全体評価

※研究開発自体の評価

(ポイント) 進捗度、目標管理、機関運営方法の評価

※国益からみた評価

(ポイント) 国またはその分野において必要な研究開発か、
研究開発の方向性は正しいか

※全体評価

(ポイント) 評価結果 (継続・中止・方向転換) の明示

(2) 個別評価

※出された主な個々の意見の集約

(3) その他

※今後研究開発を進めるにあたっての統一的な注意点等